

市内高校生によるリニアの広報活動の取り組み

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、市内の高校生によるリニア中央新幹線への理解と関心を深める取り組みをご紹介します。

問 リニア対策課（8内線213）

中津高校の取り組み

中津高校では、平成30年6月23・24日に開催された旭陵祭（文化祭）において、リニアに対する興味・関心を高めることを目的に、リニアが走る原理などについて、実験を通して来場者に知っていただく実験コーナーが設けられ、多くの人が訪れました。来場者は磁石や針、電池など身近にある材料を使って、リニアの原理を学ぶことが出来ました。



文化祭での実験の様子

坂下高校の取り組み

坂下高校では、平成30年10月14日に東美濃ふれあいセンターで行われた「健康福祉まつり」に、「みんなで作ろう ネームプレート（プラ板名札キーホルダー）」というブースを設け出展しました。



健康福祉まつりでの様子

プラ板名札キーホルダーは、災害などの緊急時の連絡先を記入できるネームプレートとして利用できるよう考えられており、生徒が考えたリニアの下絵がデザインされたプラ板を使ってネームプレート作りを楽しみました。

また、地元保育園・幼稚園の園児に、生徒が作ったプラ板名札キーホルダーをプレゼントし、園児たちにわかりやすくリニア中央新幹線について説明したほか、リニアの絵柄入りのカバーをつけた座布団をJR坂下駅待合室に設置するなどの活動を行いました。



園児にプレゼントしたプラ板名札キーホルダー

阿木高校の取り組み

阿木高校では、総合生活科の生徒が製作した車いす用フットレスカバーや刺繍が入った刺し子ふきんを福祉施設に配付する活動を行なっています。

平成30年度は、リニアの広報活動として、生徒がデザインした、リニアの絵柄入りのラベルシールを作成し、製作物に貼り付けて配付しました。



中津川市域学連携成果発表会での報告の様子



阿木高生が製作したフットレスカバー

これらの市内高校生による取り組みは、「リニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民の会」の助成を受けて実施されました。

また、2月23日に行われた「中津川市域学連携成果発表会」でリニアの広報活動について、代表生徒が報告を行いました。